

■松本奎堂 志士，三河国刈谷藩士。{天諫組}総裁となって挙兵するも，〈八月十八日の政変〉で形勢一変，戦死した。
まつもとけいどう
富嶽三十六景1831＝ 刈谷で藩士印南維成の次男に生まれる。

養われて松本氏を継ぐ。

大塩平八郎乱1837＝ 6歳：

勅進帳初演・1840＝ 9歳：

阿部正弘首座1845＝14歳：

・・・・・・1848＝17歳：槍術稽古で左眼を傷つけ，以後読書に精励する。
北斎没・・・・1849＝18歳：

万次郎帰国・1852＝21歳： 拔擢され，江戸に出て昌平黌に学び，
ペリー来航・1853＝22歳： 江戸藩邸の教授兼侍読となったが，議論激切のため忌まれて禁錮1年に処せられ，

安政大地震・1855＝24歳： 再び昌平黌に学び，帰国して前職に就いたが，

言容れられず辞職，

五ヶ国条約・1858＝27歳：
安政の大獄・1859＝28歳： 名古屋に出て塾を開いた。

桜田門外変・1860＝29歳：

遣欧使節・ 1861＝30歳： 大坂で昌平黌の同学松林飯山・岡鹿門と双松岡学舎を開き，

生麦事件・ 1862＝31歳： *京都に移り，藤本鉄石・吉村虎太郎(寅太郎)ら尊攘激派の志士と交わる。たまたま島津久光の率兵上京を
機に討幕を計ったが，失敗して一時淡路に逃れた。

8月18日政変 1863＝32歳： *孝明天皇の大和行幸の詔が下ったのを機に，藤本・吉村ら同志と中山忠光を擁して京都を脱出，大和五条
に挙兵して代官鈴木源内を討幕の血祭に上げ，桜井寺を本陣とし，{天諫組}と称して中山を主将に，自分は
藤本・吉村とともに総裁になり，年貢半減の触書を発した。しかし〈八月十八日の政変〉によって形勢が一変
し，諸藩兵が来攻，頼みとする十津川郷士も離反したので，十津川山中を彷徨し，吉野郡鷺家口に至ったが
，紀州藩兵の銃丸に斃れた。